

## 交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	フローニンゲン大学
留学先での所属学部・研究科:	Faculty of Economics and Business
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2023年8月23日～2024年7月12日
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	2024年7月12日
本報告書記入日:	2024/7/20

## 1. 留学先大学について

1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	4月 25日
	参加必須のオリエンテーション日	8月 31日
	学期:	① 9月 4日～ 11月 10日
		② 11月 13日～ 2月 2日
③ 2月 5日～ 4月 12日		
④ 4月 15日～ 7月 12日		
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入してください。	1614年設立の歴史ある大学で、経済・経営、エネルギー分野が人気です。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	試験中に辞書の持参が可能な講義があるなど、英語圏ではない国からの留学生が多いため語学力には一定の配慮があります。
	勉強面でのサポート:	授業がレクチャーとチュートリアルという少人数グループでのプレゼンやディスカッションに分けられており、全ての学生が積極的に授業に参加できる機会が設けられています。
	精神面でのサポート:	大学内での交流イベントが定期的で開催されます。
	住居・生活面でのサポート:	大学からのサポートはなく、SSHという非営利団体から寮の各種サービスを受けます。
1-4	課外活動のサポート:	オリエンテーションやメールで課外活動の案内がきます。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	<a href="#">クリックで別シートへ</a>

## 2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	オランダ国内全体で深刻な住居不足と家賃の高騰が問題となっており、詐欺も横行しています。信頼性の高いSSHから予約開始後すぐに寮の手続きを済ませることをお勧めします。
-----	--------------------------------------	--

## 3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	Wifiが寮にあったが、回線が弱かったためルーターを購入しました。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか、医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	幸い自分は病院に通わなかったが、日本から持参した風邪・胃腸薬や絆創膏はかなり重宝しました。歯のトラブルもよく耳にするので、出発前に検診に行くことをおすすめします。
3-3	銀行口座等について	
3-3	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	市役所で住民登録を済ませたのち、ING銀行で口座開設の手続きをしました。ただ、日本円→ユーロの為替手数料が安いWiseのカードを日本で作成し、主に利用しました。

## 4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	フクシマグローバル人材支援奨学財団
	支給額(円/月):	¥100,000/月
	その他(渡航費等の支給):	支度金として¥100,000
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	250,000円
	住居費:	(月額) 100000円 × (留学月数) 10ヵ月 = 1000000円
	食費:	(月額) 20000円 × (留学月数) 10ヵ月 = 200000円
	保険料:	100000円
	その他:	旅行 500,000円
	合計(留学期間全体の費用):	2,300,000 円

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	街の中を気軽に自転車で移動できますが、交通ルールが日本と異なるため慣れるまでに時間を要します。オランダ語非話者に優しく、ほとんどの人が英語を流暢に話します。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	蚤の市等のイベント、フリーカフェ、
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	フリーカフェ、結婚式の写真撮影
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	学生の街として知られており、人口は少ないが活気に溢れています。治安も良かったです。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	業界研究や自己分析をしながらCFN上でオンラインで選考を受け、ポスドクキャリアフォーラムに参加しました。結局卒業を1年延ばすことにしたため、本格的な就職活動はそれ以降行なっていません。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	YouTube、各大学の留学報告書
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	サララップ、ふりかけ、旅行用の小分けのシャンプー等
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	異文化理解、海外生活に対する懸念の払拭、チャレンジ精神
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:( 89 ) 点 → 帰国後:( ) 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	モロッコで食中毒にかかり、3日間動けなくなったことです。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	適切でした。留学に関する質問にも迅速に回答していただきとても助かりました。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦めます。事前研修プログラムは語学面で予習として大きな助けとなり、費用面でも授業料の負担が抑えられたことのメリットが大きかった。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	4
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	3
	・全体として留学に係る費用は安かったかと思いい、満足しましたか	4
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
	・留学全体の総合的な評価	5

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)		
<p>オランダ北部のフローニンゲンには首都のアムステルダムから電車で2時間半ほど離れており、人口20万人の内約4人に1人が学生という若者の活気に溢れながらも古い街並みや自然を感じる事ができる落ち着いた一面もあります。大学と学生寮ともに各国からの優秀な学生がおり、講義だけでなくパーティーやイベント、ボランティアや旅行といった様々な機会を通して関わる事ができます。私が留学中に得た物の中でも特にこれから留学する方に伝えたいことが三点あります。</p> <p>一つ目は、積極性を持つことです。私は留学前、環境を変えることで沢山のチャンスを得る事ができると考えていましたが、大きな間違いでした。環境を変えるだけでなく、自分自身から行動を起こすことが何よりも大事でした。少しでも興味を持ったものに勇気を持って足を運んでみる事が、知らない世界への第一歩となる事が幾度となくありました。例えば、突然モロッコへの旅行に誘われて親睦を深めた大学の友人から、インターン先の社長を紹介されオランダでの会社経営についての知見を得る事ができ、日本でのビジネスに興味を持ってくれたことで現在も交流が続いています。</p> <p>二つ目は、相手と自身の文化の双方を尊重することです。留学先で寮や学校等で国際色豊かな環境に身を置くことになると思いますが、関わる相手の文化について学び、類似・相違点を探りコミュニケーションのツールにすることは多くの人と深いつながりを得ることに大きく繋がります。また、自分の文化についても聞かれる事が想像以上に多かったため、改めて自身のバックグラウンドについて理解を深める貴重な機会となると思います。</p> <p>三つ目は、適応力・対応力です。海外では、自分の意思でコントロールできない事案が格段と増えます。寮で下水が逆流したり、乗っていたバスが事故に遭ったりなどトラブルを挙げれば枚挙に暇がありませんが、そんな時に誰も助けてくれないケースも多いです。それを楽しもうとはいかないまでも、冷静さを失わないメンタルが大事だと思いますし、嫌でも身につくはずですよ。</p> <p>留学先での経験は以前は想像もつかなかったような貴重な財産となり、KIBERを通じてそれを築けたことが本当に良かったと感じています。これから留学をされる方が実りある一年を過ごせることを願います。</p>		

9. 留学経験の共有について		
9-1	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-2	あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	学部のウェブサイトに報告書を記載します。留学を検討している経営学部生があなたに連絡を取る事に同意しますか？	はい

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。

## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	授業で の使用 言語	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等の成績評価 についてアドバイスも含めて教え てください
1	Intermediate Asset Pricing	Ambrogio Dalò	4	5	英語	約100人	毎週の課題のレベルがかなり高い。予習と復習が必須
2	Innovation Management in Multinationals	Wim Biemans	4	5	英語	約300人	プレゼンテーションの評価 が重視される。
3	Management of Product Innovation	Dr. Marco Kleine	4	5	英語	約200人	中間テストでほとんどの評 価が決まる。
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

基本的にレクチャーとは別にチュートリアルと呼ばれる少人数でのグループワークに分かれており、非常にインタラクティブな授業が展開される。レクチャーは1-300人ほどの大人数で、チュートリアルは30人程度のクラスから5人ほどのグループに分けられる。成績評価は学期末の試験が重視される場合がほとんどだが、日本の大学と異なり相対評価ではなく絶対評価なので、個人の日頃からの復習が重要になる。グループワークにおいてもメンバー全員の貢献が求められるため、各員が自発的に提案や作業を進める。